

2023年7月20日
JFE シビル株式会社

物流施設に適した鉄筋コンクリート柱・鉄骨梁接合部構法(J-RCS[®]構法)を開発

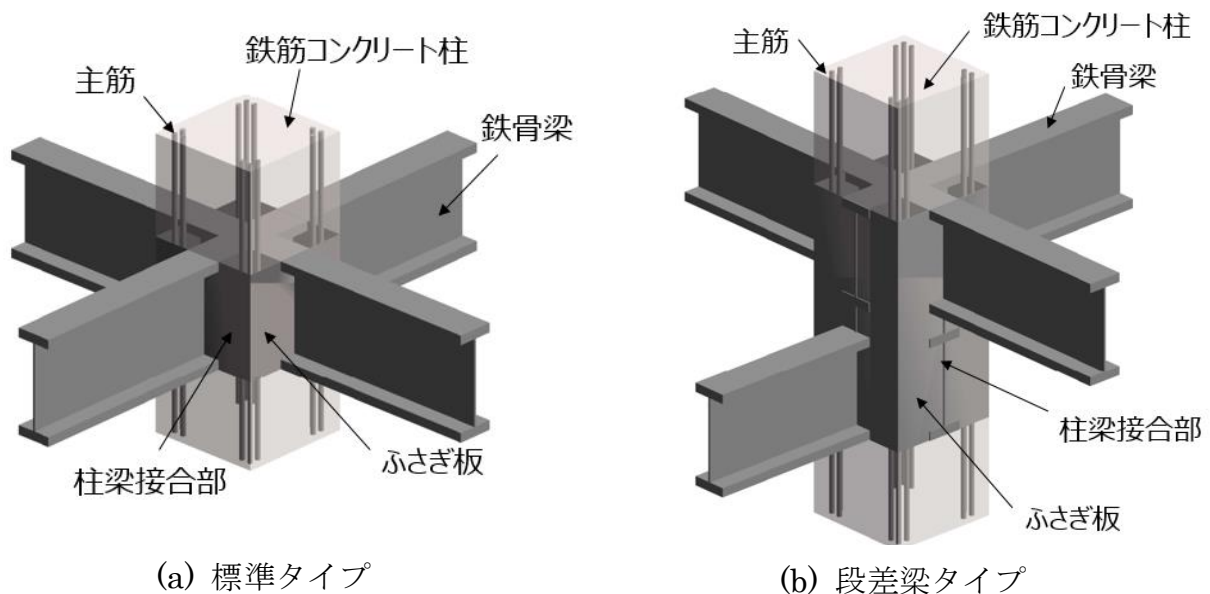
JFE シビル株式会社は、柱を鉄筋コンクリート(RC)造、梁を鉄骨(S)造とした混合構造(RCS構造)である独自の「J-RCS[®]構法 -ふさぎ板を用いた梁貫通形式 RC 柱 S 梁接合部構法-」を開発し、一般財団法人日本建築総合試験所の建築技術性能証明を取得しました(第 23-05 号, 2023年5月25日付)。

RCS 構造は、圧縮力に強い RC 造を柱に、軽量で曲げやせん断に強い S 造を梁に用いた合理的な構造であり、物流施設や店舗などの大スパンかつ積載荷重の大きな建築物に適した構造です。従来当社では、物流施設などの構造形式には S 造または柱が鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造で梁が S 造の混合構造を採用しておりましたが、構造形式のメニューの多様化を図るため独自の RCS 構造の開発に取り組みました。

J-RCS[®]構法の柱梁接合部は、S 梁が貫通する形式(図 1)で、柱梁接合部のコンクリートの外周を覆う鋼板(ふさぎ板)を設けることで、ふさぎ板を型枠として代用すると共に帯筋を省略でき施工性に優れた形状です。本構法は、梁段差やブレースが取り付けられる場合にも適用可能であり、またコンクリートや鋼材は高強度の材料を使用することができるため、物流施設に最適な構造を実現します。

今後 JFE シビル株式会社は、本構法を構造形式のラインナップに加えることで、今まで以上にお客様のニーズに応える提案を行ってまいります。

【図 1】「J-RCS[®]構法」の概要



以上

本件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。

JFE シビル (株) 技術開発研究センター 開発部 TEL:03-3864-3793